



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年11月26日 第896号「週刊五十嵐レポート」

ああ、無常

東京地検特捜部は11月19日、仏ルノー・日産自動車・三菱自動車の会長を兼務するカルロス・ゴーンを金融商品取引法違反容疑で逮捕した。日産は「複数の重大な不正行為」があったとして、22日カルロス・ゴーンを会長から解任した。日産における事実上のクーデター。不正行為は下記の3点。

1. 実際の報酬よりも少ない額を有価証券報告書に記載。
2. 私的な目的で投資資金を支出した。
3. 私的な目的で経費を支出した。

数的規模があまりにも大きすぎて、驚きしかない。あえて中小企業の規模に置き換えてみる。絶対権力者であるオーナー社長が得意になって思い上がっている。会社の調子もいい。意見をいう役員や社員はいない。仕事に私生活に関する物事を持ち込み、公私のけじめがつかない。欲望にも限がない。こんな社長、居そう。(会社のクレジットカードで自宅犬のためにペットフードをアマゾンで購入し、税理士を困らせているのは、まだ可愛いほう)。

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。奢れる人も久からず、ただ春の夜の夢のごとし。猛き者も遂にはほろびぬ、偏(ひと)へに風の前の塵におなじ。」(「平家物語」より)。

祇園精舎の鐘の音は、「諸行無常」、この世のすべては絶えず変化していくものだという響きが含まれている。沙羅双樹の花の色は、どんなに勢い盛んな者も必ず衰えるという道理を示している。世に栄えて得意になっている者がいても、その栄華は長く続くものではなく、まるで覚めやすい春の夜の夢のようだ。勢いが盛んな者も結局は滅亡してしまうような、風の前の塵と同じである。(現代訳)

1999年にルノーから日産にやってきたカルロス・ゴーン。瞬間間に日産を再生させたトップ。約20年後には逮捕で会長を解任。平家物語とダブってしまう。「無常」(常に変化する)であり、「謙虚」(おごりたかぶらず、素直)でなければと思う。

ちょっと
気になる出来事

11月16日(金)朝日新聞夕刊に「TKG」という記事。

近年「TKG」とも呼ばれ、各世代に愛される「卵かけご飯」が、「生卵は食べない」はずの外国人に浸透し始めている。「おいしくて安全」を売りに、鶏卵の輸出も過去最高を更新し続けている。

「台湾では生で食べない。初めてだけどおいしかった」。

外国人が卵かけご飯を注文し始めたのは2,3年前から。現在は客の7~8割が外国人。平均でも外国人だけで卵1個入りの並み盛20~30食。(「たまごや」オーナーより)

日本は生食を前提に賞味期限を決め、品質管理も厳格だが、海外では大半の地域で過熱することが常識。生食のハードルは高い。鶏卵の輸出は好調。2008年に1.2億円が2017年は10.2億円の輸出額。

週3回は、卵かけご飯専用のしょう油で卵かけご飯を食べる。世界では「T(卵)K(かけ)G(ご飯)」。これも日本フードで輸出商品なんだ。



一口メモ
知識

依存はなぜいけないのか

依存はいけないのでしょうか。

依存は、完全に断つことができないことです。

そもそも、生きること自体が依存なのです。

だから、依存からはけっして逃れられません。

こわいのは、気づかないと、依存症に陥って危険だということです。

食べ物に依存すると、健康を壊します。

心の刺激に依存すると、自己破壊に陥ります。

生きている間、完全に依存から脱することはできていませんが、

依存していることに気づくことが大切です。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

